



8月22日 前期後半が始まりました

夏休みも終わり、学校に子どもたちが戻ってきました。長い夏休みとなりましたが、ご家庭や地域で過ごす子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。暑い日が続きましたが、各地で津波や大雨による被害があり、あらためて防災・減災について考えさせられました。9月の防災月間でもしっかりと考えていきたいと思ひます。

夏休み明けも、暑い日がしばらく続きそうですが、体調に気をつけながら前期のまとめに取り組み、後期につなげていきたいです。

夏休み明けの集団登校では校外指導部の方を始め、ボランティアの方々も子どもたちの安全のために朝のお忙しい時間に登校指導をして下さり、ありがとうございました。今後もさらに安全指導を徹底していきたいと思ひます。これからも引き続き児童の安全のため、ご協力をよろしくお願ひいたします。

校長講話より 夏休み前（7月24日）

24日(木)の校長講話では、1～6年生の子どもたちががんばってきた姿を写真で伝えるとともに、「4月に子どもたちにお願ひしたこと（①「友達や先生の話をしっかり聴く」、②「自分がやられて嫌なことは友達にしない」）を振り返ってもらいました。

①は、自信を持って「できたよ!」とつぶやいたり、「うんうん!」と頷いたりする子どもたちの姿がたくさんありました。一方、②については、①よりも肯定的な反応が少なく、「ちょっと、その点についてはまだまだかなあ…」といった感じの表情が見られました。そこで、校長講話のまとめとして、『できているところは、さらに自分で伸ばし、「もう少し…」と思うところは、友達と力を合わせながら、夏休み明けも①・②については、しっかりと取り組んでもらいたい!』ということをあらためてお願ひしました。

話のまとめとして、校長としては、以下の3つの話をしました。

① 友達との関わり(友達との関係づくり)については、さらにレベルを上げていってほしい。② 今日まで、担任の力を借りながら、子どもたちが一生懸命に学習に取り組む姿をどの教室でも見ることができている。このことは、夏休み明けも継続していってほしい。

③ 14月から今日まで毎朝「おはようございます!」と元気な声で登校できたのは、毎朝「がんばって行ってらっしゃい!」と学校に送り出してくださっているご家族の皆様や地域の皆様のお支えがあるということ。感謝の気持ちを忘れないようにしてほしい。



★勉強がよくわかり、自分の学習を進めるためのコツは…?

～友だちや先生の話をしっかり聴くことができること～

「あたりまえのこと」ですが…。
「あたりまえ」をくり返して、
自分のレベルを上げましょう!

より良い友だち関係をつくっていくために大切なこと

自分がやられていやなことは、
友だちにしない!

||

「自分がしてもらったらうれしいな」と
思うことを友だちにする!

◆ ささえられ、たすけられている ◆

地域の皆様 登下校の見守り、読み聞かせ、お米づくりなど…

自分の家族 「いってらっしゃい!」「おかえりなさい!」
「どうしたの?」
「心配なことは何でも言ってね。」など…

「感謝(かんしゃ)の気持ち」をわすれずに…。

よい夏休みを!!!

校長講話より

夏休み後（8月22日）



22日(金)の校長講話は、『ぼく モグラ キツネ 馬』(チャーリー・マッケンジー著、河村元気訳 飛鳥新社 2021 年)の紹介と「校長からの2つのお願い」をしました。

やや哲学的で大人向けの絵本といった感じですが、子どもたちの心にも引っかかりそうなページを抜粋し、左図のようなクイズ形式で、子どもたちに紹介しました。子どもたちは、「???」の部分で前後左右の友だちと熱心に考え合う姿が見られました。

他にも、以下のような会話を紹介しました。

「いちばんのおもいちは モグラがいう。」

「かんぺきじゃないといけないうもことだ」

「いちばんの時間のむだってなんだとおもう？」

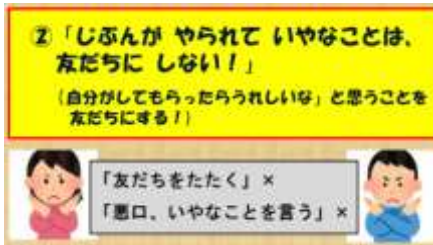
「ぼくがたずねると、モグラはこたえる。」

「じふんとだれかをくらべることだね」 など

自分の心と向き合うことができるこの本は、しばらく(8月いっぱいくらいまで)校長室前の廊下に置いてあります。子どもたちの心の成長に少しでも役立てば、幸いです。

次に、夏休み前に確認したこと(「友達や先生の話をしっかり聴く」、「自分がやられて嫌なことは友達にしない」)について、夏休み明けの今日からも、しっかり取り組んでほしいということ子どもたちにお願いしました。この2つは、集団生活をする中で、また、友だちと関わる上で最も大切なことのひとつになると考えていますので、子どもたちには、これからもうずっとお願いし続けていきます。

長い夏休みが終わりました。今後も子どもたち一人ひとりのさらなる心身の成長に向けて、職員一同力を合わせ取り組んでいきたいと思います。宜しくお願いいたします。



集団登校（8月22・25日）

夏休み明けの二日間は、集団登校を行いました。夏休み前には子どもたちに、集団登校を行うねらい(安全な通学路の歩き方の確認等)を改めて確認してもらい、登校班の集合時間についても見直しを行いました。

保護者の皆様におかれましては、集合時間の変更などに対応、ご協力いただき、ありがとうございました。子どもたちの登校の様子はいかがだったでしょうか。

現代の子どもたちにとっては、学年の枠を越えた関わりが希薄になってきていると言われています。だからこそ、地区子ども会や登校班、児童会での縦割り班活動を大切に位置づけ、ともに一つの願いに向け一緒に活動する経験を積み重ねていきたいと思います。集団登校後には、各教室で振り返りの時間を設け、カードに班員の人へ「ありがとう」や「すごいな」のメッセージを書き、気持ちを互いに伝え合う活動を設けました。高学年の児童にとっては、低学年の見本となれる場であり、低学年の児童にとっては高学年の姿がこれからの見本となっていく場になれるよう学校でも声をかけていきたいと思っています。



お知らせ

□9月2日（火）南部研修会の日の下校について

先日の「小中一貫教育だより」でもお知らせしましたが、年に3回南部地区の教職員が集まり、研修会を行っています。そこでは、「友だちと関わり合いながら、自分の考えを友だちの考えと関連付け、再構築していく子どもの育成（学び合い）」を目指し、授業参観を行って意見交流を行ったり、講師を招聘し講演会を聴講したりして、研鑽を積んでいます。9月の研修会は本校が会場校となり、いくつかのクラスが授業公開を行います。それに伴い、授業公開を行うクラスと行わないクラスの下校時刻が異なります。詳しくは、4面の【9月の下校時刻一覧】にてご確認ください。

保護者の皆様におかれましては、変則的な日課となりご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力の程、よろしくお願い致します。

ギャラリー「みがく」

夏休みに頑張った課題・作品



本校職員も夏休みを使って、スキルアップや人権感覚をさらに磨くために、多くの研修を行いました。



非違行為防止研修
(グループワーク)



ものづくり研修



現地研修
(幕岩：鉄平石採掘跡)

〈この他にを行った職員研修〉

子ども理解研修・特別支援教育ソフト研修・学力向上研修など

学校では、いつでも相談を受け付けております。

心配なこと、不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

相談窓口

☆学級担任

☆スクールカウンセラー（県 SC:古林 幸子先生 市 SC:佐野 由美先生）

☆特別支援教育コーディネーター（川瀬・小林・森本・黒澤）

☆養護教諭（宮崎）

☆教頭（百瀬）〈SC 窓口〉

※県 SC 古林先生訪問予定日 9月3日（水）・10月1日（水）・11月5日（水）

いずれも8：40～12：15

カウンセリングをご希望される方は、担任または教頭までご連絡ください。

